

## 第10回福島市あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業検討委員会会議録

日 時 令和3年1月29日(金)

13:30～15:00

会 場 福島市市民会館

3階 第301号室

出席者 委員7名、事務局14名

### 【会議内容】

#### 1 議事

##### (1) 協議

- ①解体基礎調査結果報告について【資料1】
- ②基本計画(案)について【資料2、資料3、資料4、資料5】

### 【質疑応答要旨】

#### (1) 協議

- ①解体基礎調査結果報告について【資料1】

#### 〔委員〕

解体工事については、ダイオキシン類特別措置法の要綱に明記されている事項に基づいて実施される旨を明記すること。また、目黒工場の例がでていますが、目黒工場は市街地内にあり、建物全部をテントで囲って行う作業だが、これはダイオキシン特別措置法の要綱に求められていないので、その辺を明確にした方がいい。かなり高額な工事費がかかる工法を用いているので、そういう整備をするべきと記載した方がよい。また、煙突の解体では、目黒区と八王子市の事例が出しているが、目黒工場については、内筒がSUSで外筒がコンクリートの煙突、八王子市の事例は、コンクリート煙突なので構造がちがう。それを一緒に取り上げるのはよくないと思うので、あぶくまクリーンセンターに見合った事例を挙げること。コストは抑えた方がいい。

#### 〔事務局〕

承知しました。あぶくまクリーンセンターの解体については、最小限の養生で行いたい旨を明記します。他の事例についても統一して整理したいと思います。

#### 〔委員〕

基礎調査ということですから、全体的にどう解体工事を進めるかを書いておいて、段階的に解体する理由、解体費の相場はやり方によって幅がでる、そういった話を提供しないと技術的なことだけ述べても何に使うのかということになるので、解体工事の流れについて記載することが必要である。

アスベストの場合は基礎調査の段階で、アスベスト調査をしないと飛散性、含有性の有無とかがわからないと対策のレベルが違ってくるので、この基礎調査で述べておかないといけないと思う。

#### 〔事務局〕

アスベストの調査については、本年度別事業で実施済みであり、レベルも把握しています。それに基づいて、基礎調査にも詳細に反映した形で最後にまとめる予定です。

〔委員〕

それによって発注仕様書も変わってくるでしょう。

もう1点は、基礎を取り除いて埋め戻す作業と書いてあるが、そういう作業のときに汚染土壌や昔の廃棄物が出てきた時にどうするかということも検討しておかないといけない。

〔委員長〕

土壌汚染対策については、土壌汚染対策工事の費用は含まないという話があったと思うが、見積もりとかしているのですか。

〔事務局〕

土壌汚染対策と埋設廃棄物対策の見積もりに対しては、来年実施する詳細調査で再度分析等を実施し、それを基にメーカー見積もりを出す前に情報を整理したいと考えております。

〔委員長〕

以上の助言を反映した結果をお願いします。

## ②基本計画（案）について【資料2、資料3、資料4、資料5】

〔委員〕

環境保全目標値は分かり易くとてもよい名称だと思います。それで、同じ表のCOは法規制値ではないので、表現を確認して下さい。ダイオキシン類についても、120tだから1炉当たり60tとなり0.1となるのは時間4t以上、96tなので1.0でいいと思うが確認して下さい。基本計画に盛りべき事項はいいと思います。ただし、今後プラスチックの問題が出てくるので検討する必要がある。

去年2回ほどプラスチックの一括回収、資源化の会議が開かれて、今年の年度明けに会議が予定されていました。まだ話は入ってこないが喫緊に法整備するようなことになりかねないので、情報収集を怠らないようにした方がいいと思います。

〔委員〕

河川の上下周辺地域の整備によって増水などが心配だったが、敷地周辺の県道の嵩上げというのではなく、上流などで堤防の嵩上げをすると、下流の堤防の低いところに負担が来てしまうので、この辺の対応予定を調べているかを確認したい。

〔委員〕

河川の整備については、阿武隈川全体で流域治水という考えで整備を行います。具体的にはこの区間の整備は河道掘削を行うこととしており、築堤は平成の大改修である程度の耐久性はある。

福島市周辺では今回の阿武隈川本川の氾濫はしておりませんので、堤防自体の計画は今のところはありません。

ただ、私どもが思ったのは、GLと浸水水位について設備は高い位置に設置と施設計画に記載してありますが、台風19号のときに機械は浸水しなかったのだが、燃料の提供（オイルタンク、配管）が浸水して使い物にならなくなった事例があったので、発電機だけではなく、きめ細かい対応をしてほしい。

〔委員長〕

後半の意見は事務局でメモをして、そうしていただきたい。

〔委員〕

施設整備財源について、約 157 億円というのが唐突に出ている。この段階である程度数字を設定して財源を考えようとして書いているとは思いますが、この段階での整備費というのは幅で示した方がいいと思います。競争入札で安くなったという例もあり、他市事例で調べていくと幅はある。福島市の状況、他施設の状況を勘案して幅で入れておいて、もし 157 億円となったらこういう財源を充てはめることになる。建設費は下げる努力を書いておかないといけない。内訳は 1 炉と 2 炉との比較があるが 1 炉でも安くなるとは限らないと書いてあるが、1 炉にしてなるべく安くする努力をするように書かないといけない。

〔委員長〕

1 炉、2 炉、3 炉といろいろな意見があると思いますが、幅をもたせて書く、安くするための努力をすることは必要だと思います。今のご意見をできるだけ反映できるように事務局にお任せいただいて、最終的には委員長チェックでよいですか。

私の方からは、小型動物専焼炉にはイノシシなど鳥獣がどれくらい運ばれて来ているのか。

〔事務局〕

イノシシは 1 日 6 頭処理しており、年間 500-600 頭の処理をしている。

〔委員長〕

基本計画後半のスケジュールが、進捗に合わせてちょっとずつ変わって分からなくなった部分がある。管理棟を後で移す計画にしているのだが、令和 10 年に新しく管理棟等建設工事期間ということで、一方で解体工事も始まっているが、このところの切り分け、配置計画図で見たときに、こっちが新工場、こっちが旧工場となっているが、その分け方とスケジュールの分け方の整合はとれているのか。

〔事務局〕

ご指摘いただいたスケジュールについては、配置図案①をベースに記載しています。新焼却施設の南側に管理棟を建設する案になっており、図面の中央にある管理棟というのは、現在のあぶくまクリーンセンターのごみの搬入経路上になっています。スケジュールでは、令和 9 年度中に新工場を稼働させてごみの搬入がなくなった状態で、管理棟を建設するように書かせていただいたものです。今の管理棟の解体前に新しい管理棟を建設しないといけないので、新焼却工場が稼働した後に、搬入経路上に新管理棟を建設してから今の工場を壊すという順序になります。

このスケジュールが全体の事業計画として一番長くかかるとまとめています。

〔委員長〕

管理棟を移すことと、解体工事のタイミングとの整合がとれていることを理解できました。ありがとうございます。

〔委員〕

国の交付金について、熱回収率についての規定がある。基本的目標の中に低炭素型社会を目指すとして書いてあるので問題ないのだが、一昨年から交付金の要件化がされて 4 つの要件を考慮するようになっている。

1 つは、ごみの有料化でごみの減量につなげるとしてこの計画では 800g と書いてあるが減量化

が前提として入っているかということ、一般廃棄物会計基準を導入すること、容器包装リサイクル法でいうと容器包装リサイクル協会と自治体とでコスト負担の意見が分かれているが、容器包装リサイクル協会からみれば、自治体の会計がずさんなためであると指摘しているところである。環境省としては一般廃棄物会計基準を導入するように奨励している。まだ時間はあるが確認してほしい。

もうひとつがPFI導入可能性調査の検討で、これは今回やっているとのことです。

あとは、広域化集約化の検討。これは福島県がやっているのだが、少なくとも1炉100t/日以上施設をつくるとの規定があり、希望的には300t以上の施設をつくるということで、こちらは特に問題はないと思いますけど、4つの要件を今後交付金に付けられる。これを書く、書かないは別として、視野に入れておいた方がいいと思います。

〔委員長〕

ごみの有料化は検討するべきものとありますが、やるということは現段階で言ってない。

〔委員〕

環境省もやれと言っているわけではなく、検討するようにとっている。

〔委員〕

環境部として一言、今現在、ごみの量はたいへん多い状況なので、まずは有料化の前にやるべきことはやるとして、いろいろ策を講じて取り組んでいるところです。ただ、令和3年度の数字が目標に対してどれだけ減らせるかを見て、その結果によって有料化も含めて検討するという方針を示しています。

〔委員〕

環境省はやたら大きくするのも困るし、小さいのばかり造られても困るということで4つの要件ができています。

〔委員長〕

炉構成の設定について、結論的には2炉となっているが、よく読んでみると書き方があいまいなので、結論をはっきり記載すべきです。他は総合的に評して結論づけているのでいい。

本編については、よりよくする方法で文言や図表を修正するのだが、最終的には事務局と委員長一任ということで、委員の先生方にはご理解していただきたいとします。

〔委員〕

ごみ質の設定のところでは尿処理の話が出ていて設定はそれでいいと思います。し尿汚泥の80tに対して8t入るとするのは混合比1割ですが、それがなかなか混ざらないという問題がある。また、し尿処理場から週または月に1度と均等に来ないという話がありますので、実際の計画を進める時は、し尿処理場の汚泥の出方、焼却場にどれくらいの頻度で持ってくるかを想定して、ごみピットでうまく混ぜる方法、混ぜない方法などを工夫しなければならない。

〔委員長〕

他にありませんか。なければ、議題については説明を終わります。ご助言を考慮して、事務局で最終的に修正して、事務局、委員長一任でよろしくお願ひいたします。

本日の協議はこれで終わりにしたいと思います。